

いじめ防止推進校の紹介

いわき市立小名浜第一中学校・生徒会 ～1～



【学校紹介：学校のよさや特徴、生徒たちの課題について】

小名浜一中は1年生6クラス、2年生6クラス、3年生5クラス、特別支援学級の全校生徒550人ほどで明るい生徒が多く、行事には全力で取り組んでいます。委員会活動や部活動が活発で、特に委員会活動では、週番委員会や生徒会本部が毎朝、正門などであいさつ運動をしているため、あいさつが活発な学校です。清掃の時間には、無言清掃を徹底して全校生が積極的に学校を綺麗にしています。

しかし、主に4つの小学校から生徒が集まってきたので、人間関係で悩む人もいて、トラブルに繋がることがあります。

いじめに対して、どんな意識を持っているかアンケート調査を行い、いじめに対する意識が低いというのが課題だと分かりました。

【学校主体の実際の活動の様子、周囲の生徒の反応】

○やまださく15番地運動・・・「や」やらない決意

「ま」まじ許さない目

「だ」だめと言う勇氣

「さ」差し伸べる思いやりの心

「く」苦しかったらSOS

「15」歳の春を自分も仲間も笑顔で迎えよう

○感謝の木・・・人にしてもらって嬉しかったことや、ありがたかったことを書きました。

○いじめアンケート・・・いじめに対してどんな意識を持っているかアンケートを行いました。

○いじめ防止スローガン作り・・・各クラスで話し合って意見を出し合い、スローガンを制作し、学期末には振り返りを行いました。



いじめ防止推進校の紹介

いわき市立小名浜第一中学校・生徒会 ～ 2 ～



【いじめ防止ラウンドテーブルに参加して：自分たちの主張、参加して得られたこと】

一人一人が思いやりと優しさを持ち、それぞれの個性を認め合うことの大切さを学びました。誰も加害者や被害者にならないように今後もいじめ防止対策を継続し、小名浜一中全体の意識が変わっていけば良いと思います。

また、いじめは起こらないでほしいと思うものですが、起きてしまうものです。そんな時、私たちにできることは、やまださく15番地運動にもある「だめと言う勇気」ではないでしょうか。「助けて」という気持ちより「怖い」という気持ちが勝ってしまい、関係ないふりをしてしまったり、楽な考え方をしてしまうときがあるかもしれません。しかし、その間に苦しい思いをしている人がいます。命は一瞬にして消えてしまうことだってあります。

たった一つの大切な命を守るために、悪いことを否定できる勇気を持つてることを目標にしていきましょう。



【ラウンドテーブルに参加した後の活動の様子やいじめへの向き合い方の変容など】

- 感謝の木・・・相手に感謝を伝える機会が増えて、学校全体の雰囲気良くなりました。
- いじめ防止ラウンドテーブル・・・他の二校の活動などを聞き、さらにいじめ防止についての策について考えることが出来ました。
- 全校集会・・・今の小名浜一中のいじめの現状などをもとに生徒会役員が「いじめをしないでほしい」という率直な意見や「仲間外れを0にし、いじめを根絶する皆が寄り添える学校づくりをしたい」ということを全校生に訴えることが出来ました。
- やまださく15番地運動・・・お飾りにするのではなく、目標として達成できるように生徒会として取り組んでいきたいです。

